



## わかさぎの はばたくまち 笠置



町の木「みやまつし」  
ツツジ属の木で、

紫八重(むらさきやしお)ともいう。  
5~6月、葉に先立って枝先に  
濃い紅紫色の美しい花を咲かせる。



町の花「桜(染井吉野)」

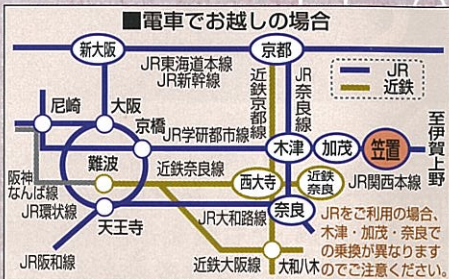
春、笠置山を薄紅色に染める2000本余の桜。  
早朝や夕暮れ時、薄曇のなかに桜色の霞みが  
浮かぶように見える山々の美しさは格別。



町の鳥「鶯(うぐいす)」

鶯は、春を知らせる鳥として知られ、  
笠置町では3月頃からさえずりが聞こえる。

## 笠置へのアクセス



■JR関西本線「笠置」下車		■マイカー	
京都から(JR奈良線木津経由)	1時間30分	国道24号山城から163号で14km	
大阪から(JR関西本線)	1時間	大阪から	約1時間30分
奈良から(JR関西本線)	30分	奈良から	約30分
名古屋から(JR関西本線)	2時間30分	京都から京奈和道路山田川 I.C 経由	約1時間
		名古屋から	約3時間



## ■お問い合わせは 笠置町観光協会

〒619-1303 京都府相楽郡笠置町佃3-1

電話 (0743)95-2159

<http://kasagi.kyoto-fsci.or.jp>

## 笠置町産業振興会館

〒619-1303 京都府相楽郡笠置町佃46

電話 (0743)95-2880

## 笠置町役場

〒619-1393 京都府相楽郡笠置町西通90-1

電話 (0743)95-2301

<http://www.town.kasagi.lg.jp>

ポケット版

京都かさぎ

# 笠置旅情百科

ハイキングマップ付







笠置曼陀羅図（重文）  
大和文華館所蔵

## 山と川と歴史のまち 笠置のあらまし

京都府の最南端の相楽郡の東部に位置し、東は南山城村、西は木津川市加茂町、北は和東町、南は奈良市に接しています。南に笠置山系、北に国見岳に連なる山々がせまり、その間に木津川が流れ、そのため平地が極端に少なく、地形全体が溪谷的な様相を呈しており、いたる所で巨岩奇石が見られます。

笠置は東大寺造営にあたっての良弁僧正の木津川開削伝承から、すでに奈良時代木津川上流から伐り出した材木を木津まで筏流しする途中の津（港）としての役割を担い、東大寺との結びつきも強く、古代・中世を通して東大寺領の笠置庄として繁栄しました。

笠置の象徴である笠置山（標高288m）は、巨石の前から、弥生時代の有樋式石剣が出土し、古来より自然崇拜が行われていたことがわかっています。

奈良時代中期のものと推定される笠置寺の本尊である弥勒大磨崖仏や虚空蔵の磨崖仏などは古来の磐座信仰と仏教思想が一体となったもので、平安時代の末法思想に伴う弥勒信仰の隆盛により鎌倉時代まで、天皇、公家をはじめとする「笠置詣で」が全盛を極めました。枕草子にも「寺は壺坂、笠置」と書かれており、修験場としても吉野、大峰と並び多くの修行者が訪れたのですが、後醍醐天皇が笠置山を要塞として行在所を置いたことによって鎌倉幕府との攻防戦の舞台となり、全山焼失し衰退しました。

### 笠置寺縁起



南都東大寺へ木材搬出の図

東大寺大仏建立の時、木津川が岩で塞がっていたので用材を運べず困っていたところ、東大寺良弁僧正が笠置の千手窟に籠もって千手の秘法を行ったところ雷神が降りて、その岩を打ち壊したという。



天智天皇の皇子遊猟の図

天智天皇の皇子が創建したと伝える伝承で、皇子が山で狩りをし、馬で鹿を追っていると断崖の上に来てしまったが山の神に祈ったところ窮地をのがれることができた。報恩のためにその岩に弥勒仏を彫ることを誓い、笠を置いた。他日、皇子が仏を彫ろうとするが岩は高力で力が及ぶそうにもない。その時、天人が降って仏を完成させたという故事が描かれている。





# 笠置探訪

笠置山は小さな山だが多くの歴史と浪漫を秘めた素敵な散策コースだ。

## 聖地と巨石信仰

D-8

古く二千年前から笠置山の巨石や奇石は信仰の対象でした。巨石の前からは弥生時代の有樋式石剣も発見されており、山腹にある笠置寺の本坊を北に行くとき見上げるような花崗岩の巨岩が連立する領域です。巨石には弥勒石、薬師石、文殊石といった名が伝えられ、それらの像が彫られていたとい



笠置寺



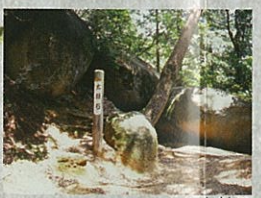
有樋式石剣

彫られていたとい

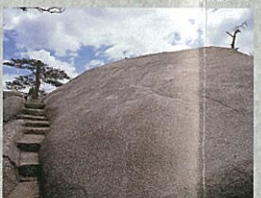
## 行場めぐり

D-8

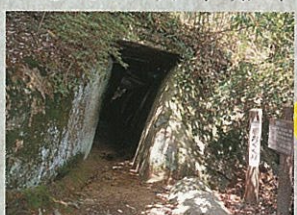
笠置山上は古くから行場として知られる。胎内くぐりは修行場への入口、10数mの岩のトンネルをくぐることによって身を清める。道を下れば、岩の窪みをたたくと音のする太鼓石があり、不思議な響きがある。視界がひ



太鼓石



平等石



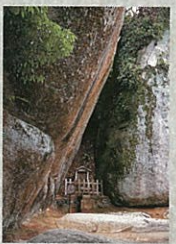
胎内くぐり



弥勒石



正月堂



千手窟

堂を北に入ると金剛界石、胎蔵界石の二つの岩の間に、

東大寺良弁僧正が籠って千手の秘法を修め、また高弟の実忠和尚がこここの竜穴から弥勒の兜率天に入り、お水取りの行法を持ち帰ったとされる千手窟があり笠置寺で最も神聖な場所とされている。その横には、高さ12m幅7mの虚空蔵石が断崖絶壁に立っており、天衣を翻えして座る奈良時代の優美な線彫りの磨崖菩薩像が元弘の兵火にも焼かれず、彫頭当時そのままの姿を残している。文殊石の前面に建つ十三重塔は解脱上人貞慶建立の木造木瓦葺きのあとに、鎌倉時代後期に建てられた重要文化財の石塔で薬師、釈迦、弥勒、弥勒の四方仏が彫られている。



十三重塔



解脱鐘

東大寺俊乗坊重源上人がつくり笠置寺解脱上人貞慶に寄進したとされる解脱鐘(重要文化財)は基底部が六つに切りこまれた

虚空蔵石



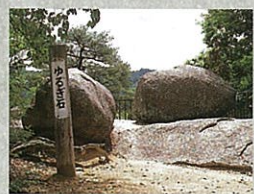
貝吹石

貝列になつて進む。奥には石像不動明王が安置されている。

と、東ののぞき、二の丸跡、貝吹石を経て山頂にある石の玉垣がめぐらされた後醍醐天皇行在所跡に着く。西ののぞき、大師堂(旧正月堂跡)をめぐる本坊に戻ると鐘楼が目につく。建久7年(1196)に

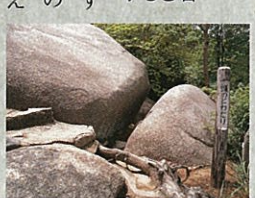


行在所跡



ゆるぎ石

たというのうなずける。近くに元弘の変の時、攻撃の備えとしたゆるぎ石がある。岩の下部は平だが片手で軽くゆり動かすことができる。まさ



蟻の戸渡り

らけると平等石(行動石ともいう)、岩の周囲をまわって行をしたという。ここからの眺めは素晴らしい、江戸時代は月見の場所であつ



木造十一面観音立像



銅製釈迦誕生仏

珍しい意匠で、日本に一つしかない中国形式の鐘です。銘文も底縁に刻まれています。



笠置寺縁起・弥勒石仏彫刻図

年(1538)書写の奥書がある笠置寺縁起など多数の文化財があり一部は展示されている。(拝観入山料

300円) 椿本神社には笠置寺の守護神である椿本護法善神が祀られている。山門近くの旧道に名切石があり、そ



名切り地蔵



石切っているが地蔵ではなく、阿彌陀が彫られているのも興味深い。この他笠置にはいたる所に石仏が見られる。

## 笠置の味・ア

笠置はハイキングだけでなく、自然の汗をかいた後は天然温泉につかって

### カヌースクール



流水の穏やかな木津川の流域をゲレンデとして初心者の方でもお気軽に参加できるカヌースクールが開かれています。(期間)3月↓11月要予約(休み)第1・3水曜

(料金)大人10,500円 子供7,350円(小学生以下) (カヌーレンタル料、講習料、昼食料、温泉入浴料、保険料含む) (問い合わせ)(株)フジタカナール研究所 http://www.fujitacano.com/ (0743-95-2507)

### キャンプ



笠置大橋の西、木津川の川原が好適地。天候・水量には十分注意し、マナーを守りましょう。(清掃協力金必要)





# 笠置の史跡に心をまかせて



笠置形燈籠

笠置山の東北部、飛鳥路の谷間にある  
**天照御門神社(16)**は春日造りの古社で  
 す。太陽神と  
 岩の神を合わ  
 せ持つ森の中  
 の趣のある社  
 だ。北隣にあ  
 る**東明寺(16)**には、大  
 般若経586帖奈良国立  
 博物館と山城資料館に寄  
 託)が伝えられており、古くは天平時代  
 から室町時代までの写経の記録がある。  
 東西にそれぞれ坊の跡、石仏群があり、  
 近年、中国・宋時代のものと思われる小  
 さな銅造聖観音像が東の坊から発見され  
 た。布目川が木津川と合流するあたりの  
 溪谷を町立布目川公園という。川には年  
 の始めに悪霊の退散を願って藁で作った  
 陰陽の作りものや農作業具の作りものを  
 吊り下げた約30mの勸請縄(H2)が渡し  
 掛けられて  
 います。ま  
 た、自然が  
 つくる不思  
 議な形の布  
 目川の甌穴  
 群(ポットホール)(H7)が近くで見られ  
 、布目橋の上下  
 流とも人気のハ  
 イキングコース  
 です。 飛鳥路

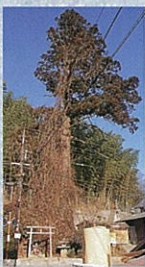


天照御門神社



大般若経586帖

から柳生への山路は昔、殿様街道ともい  
 われ、地名は奈良の飛鳥に続く「あすか  
 みち」に由来するというのも古代への思  
 いをかりたてられる。  
 笠置大橋から東へ、横川橋あたりから、  
 木津川東側に開けた里、有市は太古より  
 吾地といわれ伝説と多くの神々を祀る社  
 がある。横川  
 橋から少し北  
 に**山神社(F)**  
**5**(西ノ山神  
 社)の大杉がある。樹齢が千百年とい  
 われる周囲5mもの古存木だ。その昔、  
 村人が山の精(かみ)に若木を授け植え、神を祀  
 ったという。また、柳生の  
 剣豪荒木又右エ門が、伊賀  
 上野の鍵屋の辻への仇討道  
 中の時この一本杉の森で憩  
 い神社に必勝を祈願した。  
 近くの勝楽寺(G5)は檀家による昔から  
 の催事も多い。法明寺(薬師堂)(H5)は  
 草葺き屋根のひなびた寺だが、重要文化  
 財の木造の釈迦如  
 来・吉祥天・増長天  
 (奈良国立博物館に  
**5**は有市の氏神



山神社の大杉



勝楽寺



栗栖天満宮

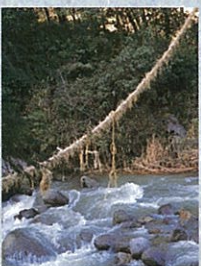
さんだ。秋まつりには、稚児泣き相撲、  
 ヤホエの神事、湯立の神事などが行われ  
 る。笠置大橋北、役場の  
 西に如来荒神(D7)少し  
 西には三神宮(D6)。切  
 山には八幡宮社(B4)。  
 JR笠置駅近く  
 は10月に稚児馬行  
 列、流鏝馬の行われる栗栖天満宮(C7)  
 などそれぞれに由緒ある神社が歴史を秘  
 めて点在する。



八幡宮社



如来荒神



勸請縄



甌穴群

寄託)などの仏像  
 をはじめとする文  
 化財が伝わる。  
 不動谷橋の東に  
 ある**国津神社(J4)**  
**5**は有市の氏神



法明寺と釈迦如来立像



国津神社



稚児泣き相撲



ヤホエの神事



湯立の神事



流鏝馬



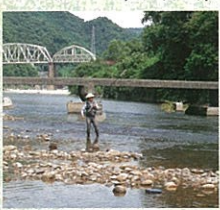
稚児馬行列

## アウトドア情報

中でアウトドアスポーツが楽しめます。  
 疲れを取り、旬の味をお楽しみください

### 釣り

木津川のアユ解禁  
 は6月の第2土曜日  
 前後。入漁料必要。他  
 に、コイ、フナ、ハエ、  
 ブラックバス、ナマ  
 ズ、ウナギも釣れる。



(問い合わせ) 木津川漁業協同組合  
 ☎0774-86-5403

### グランドゴルフ



キャンプ場横の木津  
 川河川敷公園内にある  
 全16ホールのコースで  
 たっぷり楽しめます。  
 また弁当の予約も可。

(料金)お一人一日500円(入園料含む)  
 (問い合わせ)笠置町産業振興会館  
 ☎0743-95-2880

### ゴルフ

笠置近辺はゴルフランド、主なコースは  
 ●かさぎGC ●木津川CC ●レイクフォレスト  
 トリゾートGC ●加茂CC ●奈良柳生CC  
 ●新奈良GC ●大和高原CC ●奈良の杜GC  
 ●美加ノ原CC ●月ヶ瀬CCなどは  
 JR笠置駅から  
 車で約10分、  
 30分で点在し  
 ています。

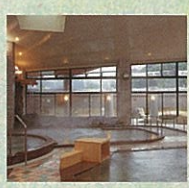


## 天然温泉

### 笠置いこいの館

(JR笠置駅より徒歩約3分)

天然の有効成  
 分がバランスよ  
 く溶け込んだお  
 湯に浸かれれば日  
 頃の疲れも吹き  
 飛びます。大浴  
 場のほかジャグ  
 ジー付きの寝湯  
 や打たせ湯、サ  
 ウナ、露天風呂  
 など、充実の日  
 帰り温泉です。  
 また4軒の料理  
 旅館といこいの  
 館の入湯をセッ  
 トしたお得な山  
 間宿泊プランも  
 あります。



(付帯設備)大食堂、喫  
 茶レストラン、レスト  
 ルーム、貸室、全天候型  
 照明つきゲートボール  
 場など

(営業時間)午前10時〜午後9時(受付  
 終了午後8時30分)  
 (休館日)第1・3水曜日、12月31日、1月1日  
 (料金)大人800円、小学生400円、  
 70歳以上650円  
 (タオル・バスタオルつき)  
 (問い合わせ)  
 ☎0743-95-2802  
<http://www.kyoto-kasagi-ikoinoyakata.com>

## 笠置の味

笠置では四季を通しておいしいものの  
 宝庫です。名物きじ料理、鯉は年中。春の  
 山菜、初夏の鮎、秋のキノコ、冬はきじ鍋、  
 ぼたん鍋、かも鍋など美味盛りだくさん。  
 ゆつくりとお過ごしになりたい方には4  
 軒の料理旅館がおすすです。また、きじ  
 肉や間鴨・鳥肉を販売しているお店も笠  
 置山登山道近くにありまます。



ぼたん鍋



きじ鍋

## 笠置観光の出発点

(JR笠置駅前)

元弘の変にまつわる模型、四季折々の笠  
 置の風景や虚空蔵石の写真などを展示。  
 特産品のお土産を探したり、喫茶コーナ  
 ーでひと休みしてハイキング等の計画も  
 練りなせませす。観光案内、ハイキングコ  
 ースや宿泊等の相談もお気軽に。  
 (開館時間)午前9時〜午後5時  
 (休館日)毎週月曜日(祝日の時はその翌日)、  
 12月30日〜1月4日





# 笠置の自然と歴史に心をまかせて

## こころ彩なす笠置の四季

笠置は京都と奈良の間、木津川上流の山峡に歴史とロマンを素朴にただよわせる静かな史跡と景勝の里です。

ちかごろ、四季がどこかに消えたといわれるが、国の史跡名勝に指定されている笠置山のあるここでは、全身で四季を感じることができる。冬の底冷えが木津川の流れにほころびると静寂の里に春がやってくる。二千本もの桜が花開き、光と風に揺らいで山々を薄紅に染める。桜吹雪が清

流に舞い、まさに春爛漫。さくらまつりは、京阪神、名古屋方面からの花見客でにぎわう。

青葉若葉が目によさしく、小鳥のさえずりが木々にとびかう初夏。七つのハイキングコースには新緑の香りを胸一杯に、山吹の花、町の花ミヤマツツジなどを楽しむハイカーの声がはずむ。豊かな木津川の流れは、腰までつかって鮎を釣る人達の天国、アユ解禁だ。

笠置の盛夏、蟬の声を耳にして、山頂の風に吹かれ木津川を望むと、川原ではキャンプのテントが色鮮やかに張ら

れ、夏の陽ざしにキラキラ輝く川面にカヌーがすべる。笠置大橋の近くは太陽と水に遊ぶ人達で賑う。灯ろう流しの祈りの火が清流にゆれ長い帯をつくると笠置の秋がもうすぐやってくる。秋まつりを祝う太鼓が轟き、泣き相撲の子の声が空に響くと、笠置の山々は金色に染まり錦織りをまとう。秋の笠置ではすることがいっぱい。紅葉狩り、スケッチ、史跡を散策するもよし、食欲の秋を堪能するにはうってつけの味覚の宿がある。アウトドアスポーツに快汗するには場所にことかかない。

チラホラ舞う雪が湯上がりの頬に心地よい冬は鍋料理の本格的シーズンです。味覚の里の味自慢名物きじ料理をはじめ、ぼたん鍋、かも鍋などが並ぶ料理の数々。家族連れ、グループの宴は静かな笠置の叙情にやさしくつつまれる。

## 笠置の主な年中行事

- 笠置さくらまつり(4月上旬) ■ 木津川のアユ解禁(6月中旬)
- 夏まつり(8月第1土曜日) ■ 灯ろう流し(8月16日)
- 秋まつり(10月第2土・日曜日) ■ 笠置もみじまつり(11月中旬)

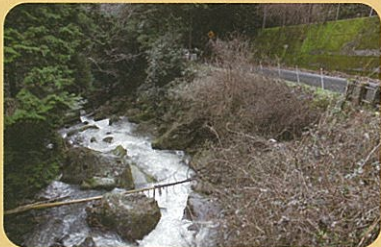
笠置

自然とのふれあいハイキングコース

この写真は1988年に撮影したものです。



**緑のしづきコース**  
片道 5km 60分



打滝峠 (E-11)



打滝川沿い (D-10)

**史の道コース**  
片道 5km 80分



笠置山登山道 (D-8)



もみじ公園 (D-8)



鹿鷲橋 (F-11)

**銀の帯コース**  
片道 4km 60分



木津川南岸沿い (D-7)



罫穴群近辺 (G-7)

自然がつくる不思議な形

布目川の罫穴群(ポットホール) (G-7)



罫穴は河底のくぼみに、うすまき流が生じ中に落ち込んだ小石が回転しながら河床を深く削ってできる珍しい穴です。特に布目川の堅い花崗岩でできた罫穴は、できるまでに数十万年から数百万年かかるものと推定されています。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用した。(承認番号 平21業使、第713号)」





布目川の勧請縄 (H-7)

布目川には年のはじめに悪霊の退散を願って藁で男女をあらわす物と幣が交互につけられた勧請縄が張り変えられます。



布目川散策コース  
片道 5km 60分



布目川沿い (H-9)



布目川散策コースを案内する道標 (H-11)

木津川横断コース  
片道 4km 60分

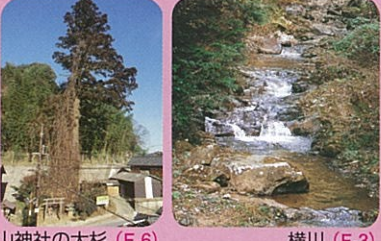


横断コース道 (G-5) 法明寺 (H-5)



木津川潜没橋 (I-5)

横川散策コース  
片道 7km 150分



山神社の大杉 (F-6) 横川 (F-3)



横川沿い (F-1)

鹿ヶ淵コース  
片道 3km 40分



木津川北岸沿い (F-7)



七曲りのカヌー下り (E-7)

(ご注意)各駐車場は有料です。